

「神の国はあなたがたの間にあるのだ」(ルカ 17:21)

イエスが「神の国はあなたがたに近づいた」(ルカ 10:9)と宣言なされたので、「ファリサイ派の人々が、神の国はいつ来るのかと尋ねたので、イエスは答えて言われた。『神の国は、見える形では来ない。『ここにある』『あそこにある』とか言えるものでもない。実に、神の国はあなたがたの間にあるのだから。』」(ルカ 17:20-21)。

また、マタイ福音書では、神の国はたとえによって説明されます。

「天(神)の国はつぎのようにたとえられる。畑に宝が隠されている。見つけた人は、そのまま隠しておき、喜びながら帰り、持ち物をすっかり売り払って、その畑を飼う。

また、天の国は次のようにたとえられる。商人が良い真珠を探している。高価な真珠を一つ見つけると、出かけて行って持ち物をすっかり売り払い、それを買う。」(同上 13:44-46)。

ちなみに、ヨハネ福音書では、「はっきり言うておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない」。・・・『はっきり言うておく。だれでも水と霊とによって生まれなければ、神の国に入ることは出来ない。』(同上 3:3-4)と断言されていますが、他の箇所では、「御子を信じる人は永遠のいのちを得ているが」(同上 4:36)に言い換えられていると言えましょう。

以上のように、神の国は、イエスの到来によって、神の愛と慈しみの支配が現在化し、終末(救いの完成)において成就する神の救いの計画と言えましょう。